





あつ
『はげダヌキ』だ！

ある田舎町に



キヤッ

キヤッ

えっ
どこ？



あははは！！！！

ホントだ
はげてる！

頭は「はげた」
の「はげ」を
たいてるの
だ。これは
「ダヌキ」
の呼び名だ。

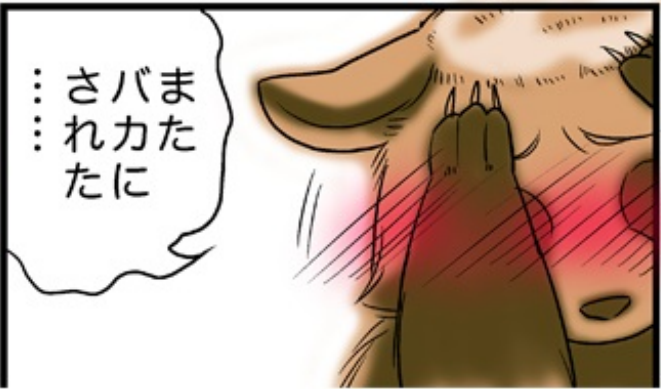


それにしても
おなかがあ
すいたなあ……

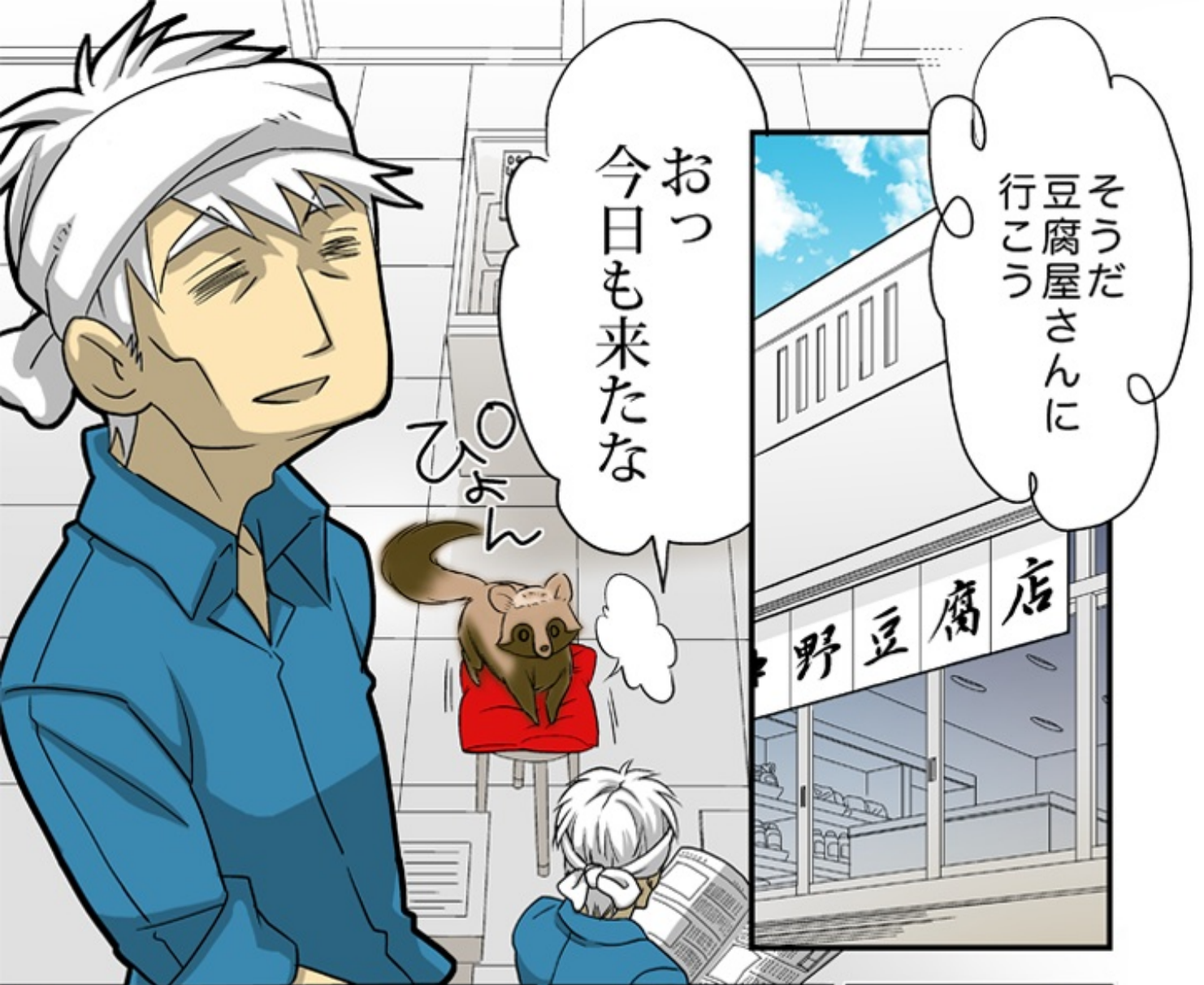


カアア……

あははは
あははは



……ま
……さ
……た
……に





まあ重い！
見事な金ね

ズツツ...

物置きの中から
出てきたんですよ

金のやかんは
すぐに
町じゅうの
うわさに
なりました

そしてある日

このやかんを
ゆずってほしい
のですが

こ、こんな大金
...!?
あ、ありがとうございます
ございます！

お金持ちが
豆腐屋を
おとす
やかんを買って
いきました

うわさどおりの
素晴らしい
やかんじゃないか！





お金を持ちましたが
目を離した隙に
庭から逃げました



あああ
なになに
こっちな
なっちゃん
あった



キーン

キーン

キーン

痛い！
こすい
熱い！！
すれて

安い物だった
磨けば
二倍三倍の値で
売れるぞ



とても
満足でした

おしまい

これで
借金が返せるぞ！



でも……
タヌキは
しばらくは
人前に出られ
なくなりましたが……

金のやかん

<http://p.booklog.jp/book/70127>

2013.4.20

著者：アサ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/asa55/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/70127>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/70127>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ